

伊那市における子どもを守るネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の現状及び課題

A 虐待通告の現状

1) 年度別通告数

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
虐待通告人数	122	109	162	122
通告件数	67	53	77	64

2) R元年度虐待通告内訳

＜虐待種別通告人数＞

身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト	計
30	89	1	6	134

＜要因（件数）＞

父の暴言暴力	母 精神・感情	夫婦不仲・DV	親病気	子の行動	他市町村移管	貧困	若年妊婦
8	21	13	8	10	1	13	2

＜通告経路別件数＞

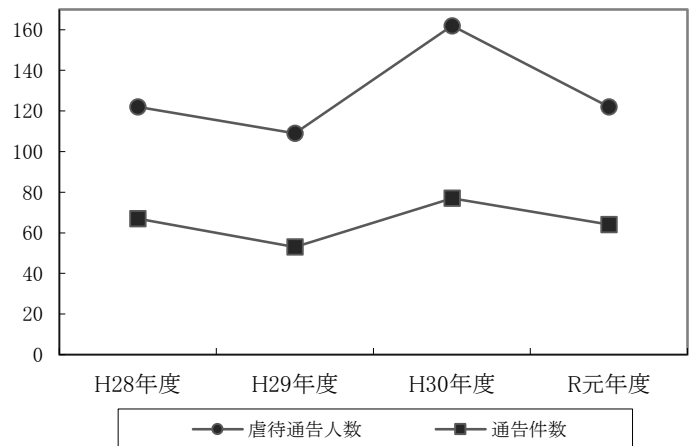
児相	県・市	医療機関	警察	保育園	学校	家族・親戚	近隣・知人	その他	本人	計
19	10	3	1	7	11	3	5	1	4	64

(ホットライン・メール 3件)

＜虐待相談の主な虐待者の人数＞

主な虐待者	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	両親	その他	合計
相談人数	34	1	83	0	7	2	127

＜伊那市の年度別通告数＞



・子ども一時保護 4件

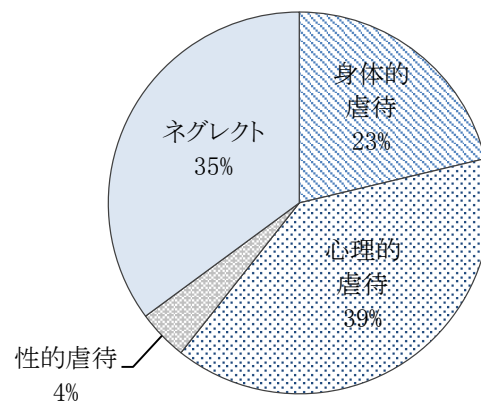
B 要保護児童進行管理表

1 要保護(要支援)の人数

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
要保護児童数	140	140	96	94
要保護家庭数	80	86	54	52
要支援児童	39	40	48	99
特定妊婦	1	1	4	3
ケース支援 会議開催数	177	249	252	327

ケース支援会議 203回は家族参加あり
児童相談所参加率 6割

＜要保護になった理由＞



2 被虐待者の年齢・相談種別人数

(要保護児童94人に対する延べ人数 相談種別が重複しているため)

	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト
0～3才未満	1	3	0	4
3～学齢前児童	4	11	0	8
小学生	10	16	2	9
中学生	4	4	0	8
高校生・その他	1	3	2	4
合 計	20	37	4	33

3 年齢別要保護児童数(実人員)

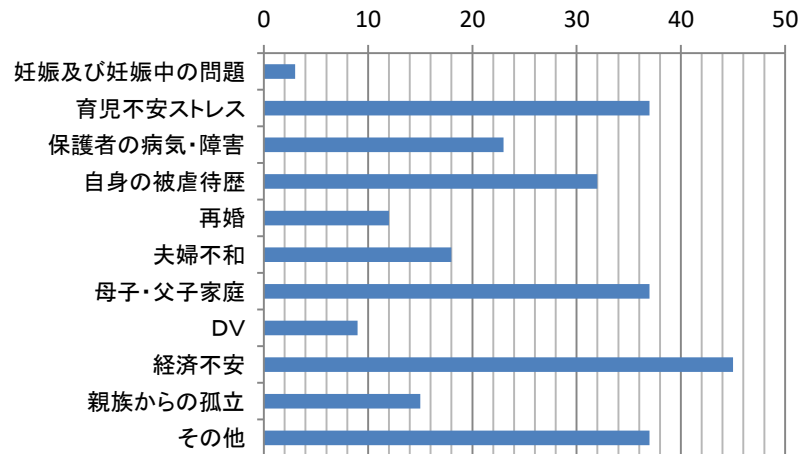
	男	女	合計
0～3歳	4	4	8
3歳～6歳	14	9	23
小学生	17	20	37
中学生	9	7	16
高校生・その他	6	4	10
合 計	50	44	94

4 主たる加害者 (人数)

実母	実父	その他	合計
66	23	5	94

5 子ども側のリスク要因(実人員)

発達障害あり	何らかの 育てにくさ	なし	合 計
31	24	39	94



6 処理別人数

処 理	児童施設入所	里親委託	ファミリーホーム	在宅
対応人数	17	1	0	76

主担当別

児童相談所：49 市町村：47

7 要保護、要支援児童193人のリスク要因(延べ人数)

妊娠及び 妊娠中の問題	育児不安 ストレス	保護者の 病気・障害	自身の 被虐待歴	再婚	夫婦不和	母子・ 父子家庭	DV	経済不安	親族からの孤立	※その他
3	37	23	32	12	18	37	9	45	15	37

※・養育力乏しい ・激昂性 ・社会通念無し ・規範意識無し ・就労無し ・対人関係不得意 ・収監等